

第3回 高浜町総合計画審議会

日程 令和2年3月25日(水)

午後1時30分より

会場 高浜町役場2階会議室1、2

次 第

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議事

(1) 町民ワーキング委員会等の経過報告について

(2) 総合計画基本構想 町民ワーキング委員会(案)について

4. その他

5. 閉会

資料

資料1 町民ワーキング委員会等の経過報告について

資料2 総合計画基本構想 町民ワーキング委員会(案)

総合計画審議会委員

任期：委嘱日 令和元年12月18日～総合計画答申（令和2年11月頃）

	氏名	所属	備考
1	西野 朋宏	高浜町議会議員	町議会議員
2	小幡 憲仁	高浜町議会議員	町議会議員
3	野嶋 慎二	福井大学工学部・工学研究科 教授	学識経験者
4	福田 敏弘	教育委員	
5	田中 康隆	高浜町商工会 会長	
6	大角 一馬	若狭高浜観光協会 会長	
7	板倉 健治	若狭高浜漁業協同組合 代表理事組合長	
8	時下 昭一	J A若狭 高浜支店 支店長	
9	田渕 幹啓	高浜町区長連合会 会長	R2.1.29～
10	大森 弘子	高浜まちづくりネットワーク 会長	
11	一瀬 邦生	高浜町社会福祉協議会 会長	
12	山下 孝之	高浜町老人クラブ連合会 会長	
13	角谷 美佐子	高浜町女性ネットワーク 会長	
14	正木 久康	高浜町PTA連合会 会長	
15	長田 隆	日本労働組合総連合会福井県連合会 嶺南地域協議会 議長	
16	永禮 義己	高浜町役場 総合政策課 課長	事務局
17	杉本 泰寛	高浜町役場 総合政策課 課長補佐	事務局
18	野村 芳	高浜町役場 総合政策課 技師	事務局

(敬称略)

総合計画審議会の審議スケジュール

開催予定	議事内容	資料
第1回 (12/18)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 策定体制と策定方針等について ○ 町民ワーキング委員会等の経過報告について ○ 現総合計画の総括について ○ 住民アンケート調査について <p style="text-align: center;">【方針共有と経過報告】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町民ワーキング委員会等の経過報告 ○ 現総合計画の総括 ○ 住民アンケート調査結果
第2回 (1/29)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高浜町の概況について ○ 町民ワーキング委員会等の経過報告について ○ 総合計画の全体構成について ○ 総合計画基本構想 町民ワーキング委員会（骨子案）について <p style="text-align: center;">【基本構想（骨子案）についての検討】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高浜町の概況 ○ 町民ワーキング委員会等の経過報告 ○ 総合計画の全体構成 ○ 総合計画基本構想町民 ワーキング委員会（骨子案）
第3回 (3/25)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町民ワーキング委員会等の経過報告について ○ 基本構想町民ワーキング委員会（案）について <p style="text-align: center;">【基本構想案についての検討】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町民ワーキング委員会等の経過報告 ○ 基本構想町民ワーキング委員会（案）
第4回 (6月 下旬)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本計画素案について リーディングプロジェクトについて 部会に分かれて意見交換① <p style="text-align: center;">【基本計画素案の検討】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本計画素案
第5回 (7月 月上旬)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本計画素案について 部会に分かれて意見交換② <p style="text-align: center;">【基本計画素案の検討】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本計画素案
第6回 (8月)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合計画案（基本構想・基本計画）について ○ パブリックコメントの実施（9月）について <p style="text-align: center;">【総合計画案の検討】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合計画案（基本構想・基本計画）
第7回 (10月)	<ul style="list-style-type: none"> ○ パブリックコメントの結果について ○ 総合計画案（基本構想・基本計画）について ○ 審議会答申について <p style="text-align: center;">【総合計画案の検討】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ パブリックコメント結果 ○ 総合計画案（基本構想・基本計画）

町民ワーキング委員会等の経過報告について
(令和 2 年 3 月 24 日時点)

【審議会等開催状況】

○総合計画町民ワーキング委員会

- 第 1 回委員会 10/17 (木) 13:30～15:30 高浜町役場
- 第 2 回委員会 11/20 (水) 13:30～15:30 高浜町役場
- 第 3 回委員会 12/11 (水) 13:30～15:30 高浜町役場
- 第 4 回委員会 1/16 (木) 13:30～15:30 高浜町役場
- ▶ 第 5 回委員会 3/4 (水) 13:30～15:30 高浜町役場
⇒年度内に 5 回開催 (基本構想案の検討)

○総合計画策定委員会 (庁内課長級)

- ▶ 第 1 回委員会 2/20 (木) 13:30～15:30 高浜町役場
⇒年度内に 1 回開催 (基本構想案の精査)

○総合計画検討委員会 (庁内実務担当)

- 第 1 回委員会 9/26 (木) 13:30～15:30 高浜町役場
- 第 2 回委員会 10/30 (水) 13:30～16:00 高浜町役場
- 第 3 回委員会 11/15 (金) 13:30～16:00 高浜町役場
- 第 4 回委員会 11/27 (水) 13:30～16:00 高浜町役場
- 第 5 回委員会 12/24 (火) 13:30～16:00 高浜町役場
- ▶ 第 6 回委員会 2/6 (木) 13:30～16:00 高浜町役場
- ▶ 第 7 回委員会 3/18 (水) 13:30～16:00 高浜町役場
⇒年度内に 7 回開催 (現計画の精査、基本構想案の検討)

【意見交換実施状況】

- 子育て世代との意見交換会 11/21 (木) 19:00～20:45 高浜町役場
- 住民団体 (おやジィーの会) との意見交換会
11/12 (火) 11:00～12:00 瑞祥苑

[アンケート実施状況]

○住民アンケート調査（町内在住 18 才以上 2,500 名無作為抽出）

調査期間 9/5（木）～9/20（金）

回収状況 有効回収数：1,047 件／有効回答率：41.9%

調査項目 回答者属性

暮らしや考え方について

高浜町総合計画について

町政について

就職状況と雇用について

地域との関わりについて

自由記述

○中学生アンケート調査（町内の中学校に在籍する中学生 295 名）

調査期間 9/24（火）～10/11（金）

回収状況 有効回収数：285 件／有効回答率：96.6 %

調査項目 回答者属性

高浜町について感じていること

まちの現状の満足度と今後の取組の重要度

将来の仕事について

地域との関わりについて

高浜町の今後のまちづくりについて思うこと

自由記述

○職員アンケート調査（一般職及び業務職 199 名）

調査期間 9/10（火）～9/20（金）

回収状況 有効回収数：188 件／有効回答率：94.5%

調査項目 回答者属性

暮らしや考え方について

高浜町総合計画について

町政について

地域との関わりについて

自由記述

【委員会等実施状況】

○総合計画町民ワーキング委員会

第1回 10/17（木）13:30～15:30 高浜町役場

会議概要

- ・策定方針とスケジュール説明
- ・現総合計画の成果と課題（報告）
- ・「住民の取り組み」と「協働の取り組み」について（ワーク）

ワークでの主なご意見

- ・高齢者の生きがいづくりの場となるサロン活動が充実している
- ・サロンへの移動手段の確保が難しい
- ・リタイヤした高齢男性による地域活動が進んでいる
- ・日引ふれあい広場などの地域の自主活動が進んでいる
- ・各種団体や各種イベントの継続実施するための人材が不足している
- ・町内の企業を知らない学生が多く、働く先がないと感じる人が多い
- ・各地区での行事の参加者の減少と継承が課題
- ・町内で同日にイベントを開催する際の連携、調整が必要

町民ワーキング委員会の様子



第2回 11/20（水）13:30～15:30 高浜町役場

会議概要

- ・ 現総合計画の総括について（報告）
- ・ 「10年後のめざす姿」について（ワーク）
 - 政策分野① 保健・医療・福祉・防災
 - 政策分野② 産業振興・観光振興
 - 政策分野③ 住環境整備・環境保全

ワークでの主なご意見

- ・ 子どもから高齢者までみんなが元気なまち ①
- ・ 地域医療が充実した安心したまち ①
- ・ いくつになっても「社会的役割」（必要とされる）がある ①
- ・ 誰もが必要とされる ①
- ・ 自助共助で災害に備えるまち ①
- ・ 災害に強い地域づくり ①
- ・ 高浜ブランドの価値向上、今ある資源を磨く ②
- ・ やる気ある人の応援、若者のチャレンジを応援 ②
- ・ 生産する場と販売する場をつなげる仕組 ②
- ・ 生まれ育った町で働ける町 ②
- ・ 美しい、統一感のある景観、町並 ③
- ・ 夜でも明るい、安全・安心なまち ③
- ・ 子どもから高齢者まで、また、性別、障がいのあるなしにかかわらず全ての人にやさしい町（バリアフリー） ③
- ・ ”もったいない”意識の醸成、高揚 ③
- ・ 町民だけでなく町外の人にも参加してもらおう保全活動 ③

町民ワーキング委員会の様子



▶ 第3回 12/11 (水) 13:30～15:30 高浜町役場

会議概要

- ・「10年後のめざす姿」について (ワーク)
- 政策分野④ 子育て・教育
- 政策分野⑤ 住民自治・協働
- ・まちの「将来像」とその実現に向けた「住民主体のまちづくり」について (ワーク) ⑥

ワークでの主なご意見

- ・大学などへの進学で町外に出ても帰りたいと思える町 ④
- ・みんなが幸せ、健やかに子育てできる、保育所、「楽校」 ④
- ・地域ぐるみの子育て体制がある ④
- ・祭りには必ず帰ってきたい高浜 ④
- ・地域内のコミュニティが保たれている ⑤
- ・地域で主役になれる場がある ⑤
- ・子どもを巻き込んで、小中高生と一緒に活動・組織がある ⑤
- ・地域、全国、海外、様々な交流と学びがある ⑥
- ・自然あふれる、海、山、自然あふれる、自然と共存する ⑥
- ・住みよいまち、住んでよかった、みんなが住みやすい 笑顔あふれて暮らす ⑥
- ・隣近所での助けあい、人や地域とのつながり、おたがいさまの精神、世代を超えた交流、これらは自慢であり、次世代にもつなぎたい ⑥
- ・みんなが高浜町の一員だと自覚する ⑥
- ・頑張る人を応援する、「我がごと」として関わってみる ⑥
- ・一人ひとりができることを考える ⑥
- ・住む人が自分たちのために各自の力を発揮 ⑥

町民ワーキング委員会の様子



第4回 1/16 (木) 13:30~15:30 高浜町役場

会議概要

- ・総合計画の全体構成について
- ・総合計画基本構想町民ワーキング（骨子案）について
- ・基本構想「将来像（まちやひとの姿）」について（意見交換）
 - ① 「子ども・子育て」「福祉」「保健・医療」「教育」分野
 - ② 「住民自治・コミュニティ・地域活動」「協働・行政経営」分野
 - ③ 「生涯学習・文化・スポーツ」「農林水産業」「商工・観光」分野
 - ④ 「環境」「住生活・都市基盤」「防災」分野
- ・基本構想「協働と行政経営」について

意見交換での主なご意見

将来像全体について

- ・町民目線と外から目線のバランスが大事。外から見た高浜町は、PRが控え目
- ・キャッチフレーズは簡潔に
- ・高浜らしい表現（高浜弁）は使えないか。
- ・自然、情景が浮かぶ、明るい、新しさが伝わるものになるとよい。
- ・住んでいる人が豊かさ、幸せを実感する表現がよい。
- ・“誰もが”の表現は、多様性を含んで考える（LGBTQ、外国人市民、障がい、高齢、100歳時代）
- ・テクノロジーの進歩により、高浜に居ながらにして“ボーダーレス（境界や国境がない）”な交流がある時代になる（都市部、世界中と交流できる）
- ・将来像に含めたい表現として「くるむ」はよい
- ・自然を「海・山」と表現しては。また、山は「青葉山」として共有できている
- ・自然とともに生きる、暮らすこと自体が、高浜町のライフスタイルであり、ブランド

① 「子ども・子育て」「福祉」「保健・医療」「教育」分野

- ・「くるむ」の表現は、この領域を包括できているのでは。（大きな輪のイメージ、出会い、つながりあい、育つイメージがもてる）
- ・「手をとりあう」「元気あたたかい」「声かけあい、おたがいさま」「誰もが必要とされる」「安心のあるまち」「くらしやすい」といったイメージが伝わるとよい
- ・子ども、親目線の表現として「夢を実現できる」といった趣旨を追加してはどうか

②「住民自治・コミュニティ・地域活動」「協働・行政経営」分野

- ・ 「つなぐ」「つながる」「絆」「継承」「未来、将来へつなげる」「あらゆる世代が元気で頑張る」「ワガコト」といった表現はどうか
- ・ 流行語の「One Team (ワンチーム)」を日本語で表せないか
- ・ 誰かがやってくれるという姿勢があり、「みんなが“主役”」の意識が大事
- ・ 「持続可能」は大切だが、どこか「現状維持、よりよくなる」という状態が見えない(夢がない)
- ・ まち全体の「一体感」(all たかはまの力)として団結や統一感を表せるとよい

③「生涯学習・文化・スポーツ」「農林水産業」「商工・観光」分野

- ・ 特産品、観光地としてのブランド化＝「誇り」「誇れる」ことであり、地域について学ぶことも「誇り」となることにつながる
- ・ 「自信」「働きがい」「いきいき」「生きがい」などはどうか
- ・ 「地域産業の活性化」や価値を共有する意味で「あるものみがき」の視点は大事。きれいな海は大事

④「環境」「住生活・都市基盤」「防災」分野

- ・ 高浜町らしく「自然」を表現するのであれば、「海・山・砂浜」
- ・ 高浜の砂浜は白く長いことが特徴で、町全体にあり、自慢できる大切な資源
- ・ 自然と関わりが減っているが、砂浜はその維持管理に今でも多くの人に関わっており、「自然とともに」のシンボルでもある
- ・ 「自然と人」を打ち出してはどうか。「自然をつなげていく・つながる」「自然と人がかもし出す」「自然と人とのハーモニー」「自然と人とが織りなす」「美しの浜と心」としてはどうか
- ・ 自然とともに生きる「暮らし方」よりも「価値のある表現」
- ・ 災害が少なく安心

町民ワーキング委員会の様子



▶ 第5回 3/4 (水) 13:30～15:30 高浜町役場

会議概要

- ・ 総合計画の全体構成について
- ・ 総合計画基本構想町民ワーキング委員会案について
- ・ 基本構想「将来像（まちやひとの姿）」について（意見交換）

意見交換での主なご意見

委員会案全体について

- ・ これまでの議論や意見が反映されており、概ねまとまっている
- ・ 協働のまちづくりの「公共公益的な活動」は表現が固いように感じる

「将来像（まちやひとの姿）」について

- ・ 前回の将来像は外からの視点を重視して、「暮らしたい、働きたい、訪れたい」としていた。今回は、内向きの視点が良いと思う
- ・ 今住んでいる私たちが暮らしよさを感じていること、愛着を感じていることを前面に出せるものが良いと思う
- ・ 「くるむ」という言葉は良いと思う。ゆっくりつつんでくれる、ぬくもりがあると感じる
- ・ 10年後の将来像であることを踏まえると、大人目線も大事だが、多くの子どもたちが町をでていくことになる。その時に子どもらが覚えている、親しんでいてくれたら良い。子ども目線も大切かもしれない
- ・ 自然とともにある暮らしの表現はよい
- ・ 「誰もが主役」という点が気になる。誰しものが主役にならなくてもよい。サポートする人も大切である

将来像の決定

くるむ つなぐ かがやく
～自然とともにある暮らし 若狭たかはま～

町民ワーキング委員会の様子



○総合計画策定委員会

▶ 第1回 2/20 (木) 13:30～15:30 高浜町役場

会議概要

- ・総合計画の全体構成について
- ・総合計画基本構想町民ワーキング委員会（骨子案）について

○総合計画検討委員会

第1回 9/26 (木) 13:30～15:30 高浜町役場

会議概要

- ・策定方針とスケジュール説明
- ・現総合計画の総括資料の作成

第2回 10/30 (水) 13:30～16:00 高浜町役場

会議概要

- ・現総合計画の総括資料の作成
- ・「次期計画に向けた課題」「10年後のめざす姿」について（ワーク）
政策分野① 保健・医療・福祉・防災
政策分野② 産業振興・観光振興

第3回 11/15 (金) 13:30～16:00 高浜町役場

会議概要

- ・「次期計画に向けた課題」「10年後のめざす姿」について（ワーク）
政策分野③ 住環境整備・環境保全

第4回 11/27 (水) 13:30～16:00 高浜町役場

会議概要

- ・「次期計画に向けた課題」「10年後のめざす姿」について（ワーク）
政策分野④ 子育て・教育・協働・その他

第5回 12/24 (火) 13:30～16:00 高浜町役場

会議概要

- ・基本構想「将来像（まちやひとの姿）」について（ワーク）
- ・基本構想「協働と行政経営」について（意見交換）

▶ 第6回 2/6 (木) 13:30～16:00 高浜町役場

会議概要

- ・基本構想 町民ワーキング委員会（骨子案）について
- ・基本構想「将来像（まちやひとの姿）」について（意見交換）
- ・基本構想「協働と行政経営」について（意見交換）

▶ 第7回 3/18(木) 13:30~16:00 高浜町役場

会議概要

- ・基本構想 町民ワーキング委員会(案)について
- ・基本計画、実施計画策定の方向性について
- ・基本計画策定の進め方(案)について

【意見交換実施状況】

○子育て世代との意見交換会 11/21 (木) 19:00～20:45 高浜町役場
総合計画への住民意見を反映するため、子育て世代と総合計画町民ワーキング委員との意見交換会を開催 (ワークショップ形式)

【参加者数】 子育て世代 8名 (男性2名、女性6名)
町民ワーキング委員 7名 (男性6名、女性1名)

意見交換会での主なご意見

子育て施策関連

- ・「高浜町で産まれた！」といえるよう、町内で出産できる環境整備
- ・多胎児育児に訪問型のサービス (訪問看護) の導入
- ・子どもの急な病気に (夜間) 対応できる病院や施設整備

地域との関わり

- ・地域に愛着を持った子どもが増えるように
- ・老人と子どもの交流イベントを行う場があると良い
- ・地域の人たちと子どもがつながる、関わる地域にする
- ・親子の交流ができる町であってほしい

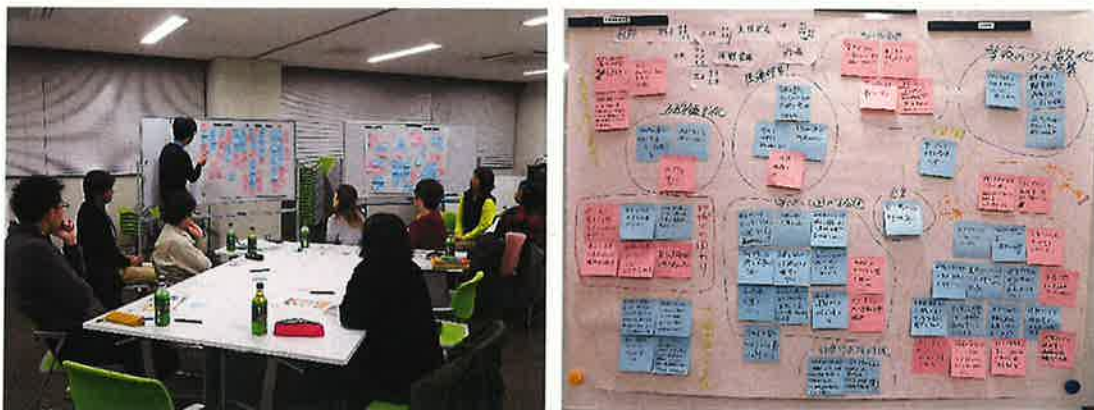
公園、遊び場

- ・子どもから大人まで一緒に汗をかける遊び場を作る
- ・一つの遊び場で年齢に応じた遊びができる場所を設ける
- ・一つの遊び場で最低2種類の機能を持った場をつくる
- ・交流の場となる地域の拠点づくり

その他

- ・大学や進学で町外に出ても、「地元に戻って仕事しよう」、あるいは、「家庭を持ちたい」と思えるようになることよい
- ・子育て世代が助けてほしい時、経験者がすぐ手助けできるマッチングサービスがあるとよい

意見交換会の様子



○住民団体（おやジューの会）との意見交換会

11/12（火）11:00～12:00 瑞祥苑

総合計画への住民意見を反映するため、住民団体と総合計画検討委員との意見交換会を開催

【参加者数】おやジューの会会員 10名

総合計画検討委員 4名

意見交換会での主なご意見

- ・地域の文化や文化財、文化活動に対して行政の積極性が感じられない
- ・高齢化社会を見据えて施設のバリアフリーに取り組むべき
- ・個別計画と総合計画が連携しているようには感じられない
- ・住民意見を聞く機会を増やしてほしい
- ・医療、防災、鳥獣害対策など、広域的視点が必要な施策は計画の広域化が必要
- ・老朽空き家対策に取り組んで欲しい
- ・子ども（孫）を安心して遊ばせることができる場所が少ない
- ・（総合計画の）基本構想に高浜らしさを入れるべき
- ・新しい施設整備ではなく、既存施設をリニューアルし、2内容充実を図るべき
- ・色々な取組をしているが、取組結果や総括などの広報がなされておらず、それら総括を踏まえたフォローアップを丁寧に行うべき
- ・行政の取組への認知が低い、PRを上手く行っていくべき
- ・（6次化施設について）行政と議員、住民の理解醸成が図られているとは感じられない。納得できる丁寧な説明、理解醸成を図るべきではないか
- ・財政面との整合のある計画作りをしていくべき
- ・地区や地域の声を吸い上げる仕組みを構築してはどうか

高浜町総合計画 基本構想 町民ワーキング委員会（案）

◆目次

1. 位置づけと計画期間
2. 将来像
3. 協働と行政経営

1. 位置づけと計画期間

① 位置づけ

この計画は、高浜町のあらゆる「まちづくりの分野」を包括する最上位の計画であり、高浜町の「将来像」を住民・事業者・行政等で共有し、その実現に向けた取り組みを示す、各主体の行動指針です。

この計画のもと、前総合計画の成果と課題を踏まえ、まちづくりに取り組んでいきます。

② 計画の構成と計画期間

「高浜町総合計画策定条例」に基づき、町議会の議決が必要な「基本構想」と「基本計画」、これらを実現するための手段である「実施計画」で構成します。

■ 基本構想（10年間／令和3（2021）～12（2030）年度）

基本構想は、私達がめざす将来像を「まちや人の姿」として描くとともに、まちづくりの基本要件として「協働と行政経営」の考えを掲げるものです。

■ 基本計画（10年間／令和3（2021）～12（2030）年度）

基本計画は、基本構想を実現するための施策を体系的に示すものです。基本構想と同じ10年間を計画期間としつつ、5年後の令和7（2025）年度に後期5年間の必要な見直しを行います。

■ 実施計画（5年間／令和3（2021）～7（2025）年度）

実施計画は、基本計画に基づく施策を実現するための具体的な事業を、財政的な裏付けをもって示すものです。基本計画期間を前期と後期に分けた5年間を計画期間とし、毎年度3か年間を目途に進捗把握と必要に応じた見直しを行います。

令和 3年度					令和 8年度					令和 12年度	
基本構想											令和12年度まで
基本計画	見直し										令和12年度まで
前期 実施計画	進捗管理と必要に応じた見直し				令和7年度まで	後期 実施計画	進捗管理と必要に応じた見直し				令和12年度まで

2. 将来像

高浜町の10年後の将来像として、「まちやひとの姿」と「人口」から描きます。

(1) まちやひとの姿

くるむ つなぐ かがやく
～自然とともにある暮らし 若狭たかはま～

「まちやひとの姿」には、次のような思いを込めて「くるむ つなぐ かがやく
～自然とともにある暮らし 若狭たかはま～」と表現します。

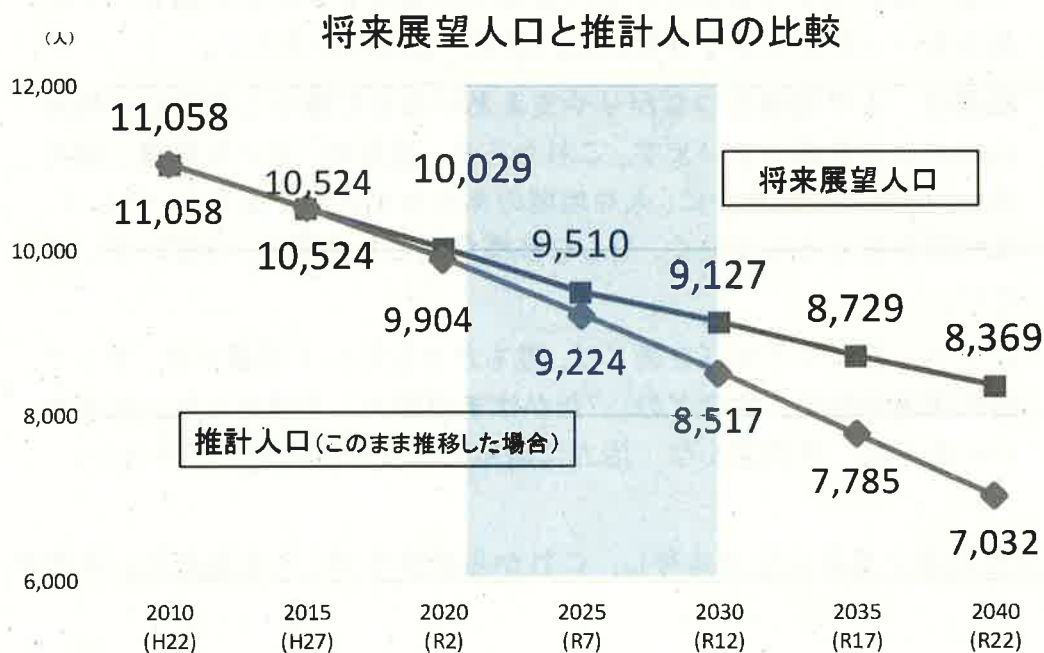
- ・ 青葉山や里山の緑、青い海、白く長い砂浜などの豊かな自然。先人から受け継いできた自然とともにある今の暮らしを誇りに感じ、その良さを一人ひとりが守り高めて、将来へ伝えていきたい。
- ・ 私達は、人や地域のつながりや支えあいなどに暮らしの安心や住み心地のよさを感じています。これからも、誰もが、互いを尊重し認めあい、心豊かで健やかに、人や地域のあたたかさにくるまれ、そして、次の誰かをくるんでいく、そんな多様な関わりを育み、つないでいきたい。
- ・ いくつになっても学びを通じて、誰もが自分らしく活躍でき、そして、自然環境や歴史、食などの“たかはまの魅力”を活かした、にぎわいにあふれ、交流盛んな、活力に満ちたまちを目指していきたい。

こうした思いをみんなで共有し、これからのまちづくりを進めていきます。

(2) 人口

- 高浜町の人口は減少傾向が継続し、本計画期末である令和12(2030)年度の人口は8,517人と見込まれています。
- 人口の現状分析と将来の人口展望を示す「高浜町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン(平成27年10月策定、以下「人口ビジョン」という)」では、緩やかな人口減少と年齢構成のバランスを維持し、持続可能な地域を実現することで令和22(2040)年度に8,300人の人口を維持することを「将来展望人口」として目標に掲げています。
- 本計画が「人口ビジョン」の計画期間内であることを踏まえ、本計画期末である令和12(2030)年度の人口を9,100人と設定します。

町の将来人口(令和12(2030)年度) 9,100人



資料:「高浜町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」

3. 協働と行政経営

- ・ 高浜町のまちづくりは、経済・社会・環境の調和を保ち、人口減少社会に対応した持続可能なものとして行い、将来にわたって、私達みんなが高浜町での暮らしにひとつ先の豊かさを感じられることを本旨としています。
- ・ 将来像の実現に向けて重要となる「住民主体のまちづくり」「協働のまちづくり」「持続可能な行政経営」について、私たちが共有すべき考えを示します。

(1) 住民主体のまちづくり

- ・ ここで言う「住民」とは、今ここに暮らす私達はもとより、将来世代、さらには高浜町に関わる町外の人も含めた私達みんなのことです。
- ・ 私達は、それぞれに感じている高浜町への関心や愛着を大切に、一人ひとりがまちづくりを「我がこと」として捉え、自分らしい関わりによって、より良いまちをつくっていくために行動するものとします。

(2) 協働のまちづくり

- ・ 「住民主体のまちづくり」を土台とする「協働のまちづくり」は、「問題解決」「魅力向上」「新たな価値の創出」といった公益的な活動です。
- ・ 人口減少、地域コミュニティの縮小が進む中で、身近な生活の困りごとや地域防災など、地域での支えあいの視点がより重要度を増しており、人や地域が多様につながり合うことで、暮らしの安心感、住み心地の良さ、生活の質の向上につながります。
- ・ まちをより良くしようとする多様な活動を通じて、誰もが生きがいを持って自分らしく活躍できる地域を目指すとともに、持続可能な地域としていくための地域運営の視点を持った「協働のまちづくり」を進めていきます。
- ・ 住民や自治会、地域活動団体、NPO、事業者、行政など、高浜町に関わる町内外の多様な行動主体がそれぞれに「役割」と「責任」を持ち、対等な立場で相互に理解を深めながら、連携・協力し、「協働のまちづくり」に取り組んでいきます。

(3) 持続可能な行政経営

- ・ 時代に即した持続可能な行政経営を実現するには、行政の役割と機能を最適化させていくことがより一層重要となります。
- ・ 効率的で効果的な行政経営のために、行政の意識改革や人材育成、政策形成能力の強化、国・県・自治体・広域圏、大学や企業等との連携や協働の強化、また、新しいテクノロジーの活用等に取り組みます。
- ・ 行財政の透明性向上に向けた取り組みや住民ニーズの的確な把握に努めるとともに、限られた資源の有効活用、老朽化の進む公共施設・インフラ施設への計画的な対応、取り組みの適切な進行管理など、確実な行財政運営を行います。
- ・ 「協働のまちづくり」の進展に向けて、情報発信や連携促進など各行動主体がより活動しやすい環境をつくとともに、活動の自立を支援します。